

設問10 (ご家庭での子どもさんへの接し方で、変わった点がございましたらお書きください。)
出来るだけ自分で考え、行動できる様に、声掛けをする様に気を付ける様になりました。
特にない。
あまりガミガミ言わなくなったかな!?
いつも通りです。
つい変化を期待して、みてしまっています。自然のまま、子どもの成長を見守っていこうと思います。
指示するのを控えようと努力はしています。
あまり口を出さない様に、見守ってやり、助けを求められたら、手をさしのべるよう心がけています。
自分のことは自分でさせて、決める様に努めてはいますが、勉強に関しては、どうしてもやりなさいと口を出してしまいます。子どもが成長したぶん、自分自身も注意するのではなく、子どもが自分で進んでやる方向へと向かわせる事ができるといいなと思います。
親として心配している以上にしっかり頑張ってみせる姿をみて、今までずっと近い距離にいただけに、少し見守る距離が広がりました。
少し子離れできました。
子どもを変えることはできない、変えることをできるのは自分、そして親が変わると子は変わる、ことを頭に入れてあります。とはいえ、気が付くのはおそく、日々失敗の方が多いですが、ころんでも立ちあがればよいのだから、常に頭に入っていれば何とかかなと思っています。
最初の2、3日は「口うるさく言うのをやめよう」「見守ろう」と思うのですがなかなか・・・ついついついものの口うるさい親に戻りました。反省です。
本人の意見をよく聞く様になった。
声かけをゆっくりするようになった。意図がきちんと伝わるまで待つようにしています。(時間をかけるようにした。)
特に大きく変わったことはありませんが、普段からやればできるからやってみようと言っていて、今回子ども自身もそれを実感できたと思うので、これからはこちらから投げかけることはあまりしないと思います。
少し自信がついたのか、声が大きくなったように思います。また、来年も是非参加してほしいです。
あまり指示を出さないように(自分で考える場を与えるように)心がけています。
自分のことは本人に主導権を持たせ、宿題が先、先にリラックス、ゲームなど自分で決めさせ、でも、やるべきことはやるを約束に見守ることを心がけています。イラっとすることもよくありますが・・・でも、なんとなく安心してまかせられるようになりました。きっと大きな経験を達成したからなのでしょうね。
子どもでなく、1人の人間として接するようになった。意見を言わせたり、えらばせるようにしています。
100km完歩できた思いを、生活の中で大切に思いながら、本人に決定させる様心がけ、気が付く様に声かけや周りの方のささえがあつて多くの出来事(イベント等)がなりたっている事を注目させながら、周囲を気にかける様接しています。

第13回おの100挑戦隊
事業報告会アンケート集計《設問10》

設問10 (ご家庭での子どもさんへの接し方で、変わった点がございましたらお書きください。)
子どもであります、一人の「人」として接するように心掛けています。特に変えていることはしていません。
子どもといろんな話を今まで以上にするようになりました。
なるべく全てを言わず(指示せず)自主的にできるように声かけしています。家の手伝いをさせるようにしました。
すぐに、指示したり答えを求めるのではなく、考える時間を作れる様な声掛けや見守るという事を大切にしようと心掛けています。
ガミガミ怒ることが少なくなった。
今まで子ども子どもと置いていたところがありますが、少し任せる場面(考えさせたり、行動を見とどけたり)が増えてきたと思います。
親子で、おの100での思い出を、話すので、話をする時間ももちろんたくさん増えました。
今までは、子どもが動く前に注意したり・・・あったのですが、少し見守って接してみようと変わったと思います。
出来るだけ、子どもの考えを尊重して、自分が考えて決めた事などについては、見守るようにしている。
気持ち的に、ベツタリでなく、少し信じて距離がおけるようになりました。
安心してまかす事ができるようになりました。
変わっていない。
口出し、手出しはなるべくしないように、心がけています。つい余計なひとことを言ってしまうが・・・。
本人を信じて、意見を良く聞くようになりました。
もう少ししっかりして欲しくて少しきびしくなったかも・・・。
特になし
特にないです。
子どもの短所だと思っていた事が、場合によっては長所になることに気づかされました。子どもの特徴が、良い方向で発揮されるよう肯定的に言えるようになりました。
特に無し。
特に変わったことはありません。
やらないといけないことを自分から進んで行うようになったため、あまりいわないように接している。
なにかをしていない時に、子どもに働きかける際、本人が出来ないと弱音をはく事があるのですが、100km歩けたんだから頑張ったら出来るんじゃないかな～?と少し待ってみて、本人のやる気を引き出せるように、心がけるようにしています。
できると信じて物事をまかせることができにくかったのですが(特に宿題)、少しは信じてまかせることができるようになりました。

第13回おの100挑戦隊
事業報告会アンケート集計《設問10》

設問10 (ご家庭での子どもさんへの接し方で、変わった点がございましたらお書きください。)
なかなか見守るだけでなく、口に出してしまう日々ですが、子の成長と共に、親も成長に合った接し方を日々研究していきたいと思っています。
以前は指示する事が多かった様に思います。子どもに考える時間を作ったり、意思を大切にすることが、少しできる余裕がもてるようになったと思います。
親の都合で手も口も出し過ぎていたため、夏休みという事もあり、宿題を全て自分で考え終えるよう、今年は手も口も出さず、声かけと見守りに徹しました。母として、このあたり前の行動ができていなかったのだと反省の夏でした。
特になし。
過保護にせず、子どもの自立を促していきたいと思いました。
夏休みの宿題を口出しせず、いつやるか見まもっていましたが、提出日までに終わらせていた様子。口出しをすこしおさえぎみに。
特にありません。
以前より褒めることが増えたと思います。又、子どもが自信のない発言の時は、おの100の達成を引き合いに出し、挑戦する気持ちを起こさせています。
特に変わった点はありません。
なかなか変わりませんが、声かけを減しています。声をかけなくてもやれるものだなあと、思っているところです。
子どものすることを、少し待つようになった。
私自身、おの100の途中でリタイアするかも・・・と心配していたところがあるので、完歩して、子どもを見直しました。
子どもがやっている事には、なるべく口を出さずに、1人でやらせるようにしようと思っています。
あいさつの声が大きくなった。
子どもに対して声をかける時、気を遣うようになりました。大人へと成長するにあたって、一人の人間として人権を尊重してやりたいと思うようになりました。